

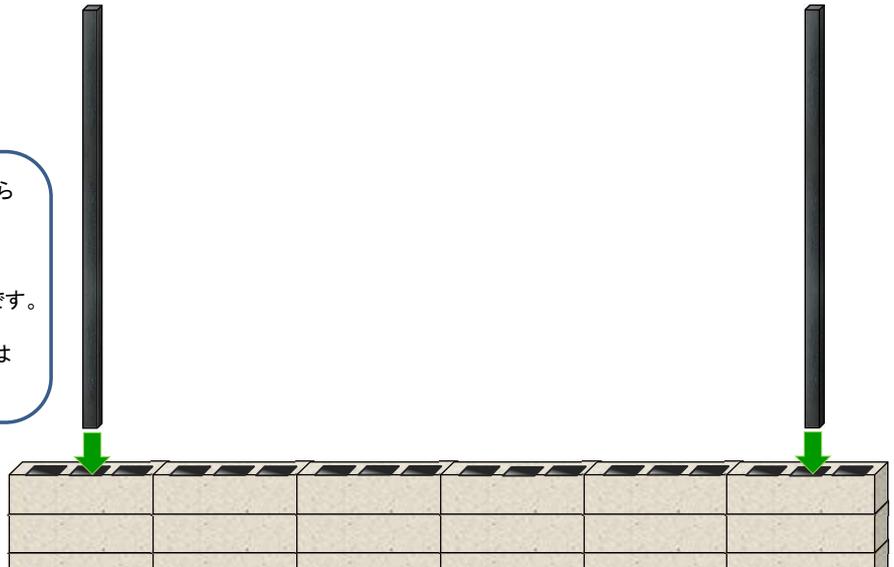
施工手順

①支柱を固定する

まず、基礎となるブロックの穴の位置等から支柱を建てる場所を決定してください。

基本の位置は芯々1m60cmですが、穴の位置に合わせて多少の変動は可能です。

平板の跳ね出し(支柱から飛び出た部分)は20cm程度までにして下さい。



支柱の水抜き穴に5寸釘等を差しブロックに設置します。水抜き穴を利用する事で支柱の高さを簡単に揃える事ができます。

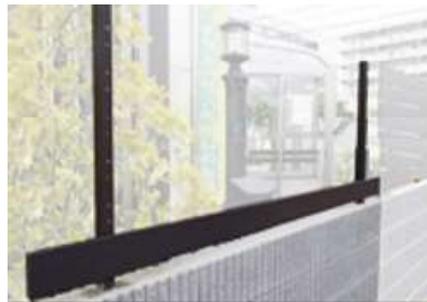
セメントを流し込みます。水平器を使い支柱が垂直に立っている事を確認しセメントが固まるまでお待ちください。

平板に下穴を開ける場合は、穴の中心から中心までの距離を測って下さい。

②平板を固定する

セメントが固まったら平板を固定していきます。

一番下の板の底面とブロックとの隙間が4cmになる位置にドリルネジで留めて下さい。



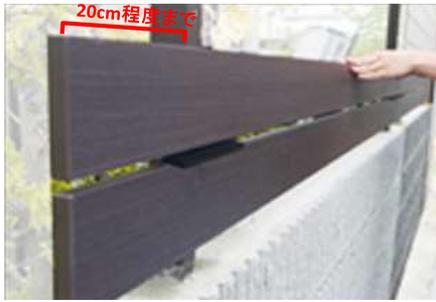
一番下の板を基準にするので、しっかり水平を測って下さい。

高さ4cmの木材等をブロックと平板の隙間に挟むと高さ調整が簡単にできます。



貫通した穴が開いた支柱側からドリルネジを通します。

平板に下穴は開いていません。支柱から平板が離れないように手で押さえつけながら固定して下さい。この時にドリルを回しすぎ、平板側の穴が広がりますと固定する力が弱くなりますので、ドリルネジがしっかり奥まで入ったら、すぐにドリルを止めて下さい。



スペーサー(幅1cmの木片等)を使い
平板を均等に固定していきます。



一番上の平板は、支柱から7mm程度
出るよう設計されています。

※平板にあらかじめ下穴を開ける事により、固定がより簡単になります。

支柱穴の中心から中心までの距離、
平板の縦の固定位置を正確に測り、
マジック等で印をつけて下さい。



跳ね出し20cm程度まで

支柱穴の中心から中心までの長さ



印にあわせて電動ドリル等で
平板に下穴をあけます。

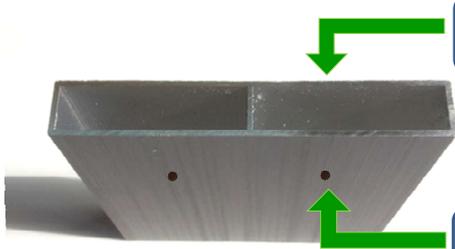


下穴は直径**3~3.2mm**程度までです。
穴が大きすぎると支柱に平板を固定する力が
弱くなるのでお気を付け下さい。

穴は貫通させません！
平板の片側のみ穴をあけて下さい。

平板の横位置がずれないように、
印をつける時に端部からの長さを
測って合わせてください。

反対の面に穴があかないよう
注意して下さい



片面のみに穴をあけて下さい

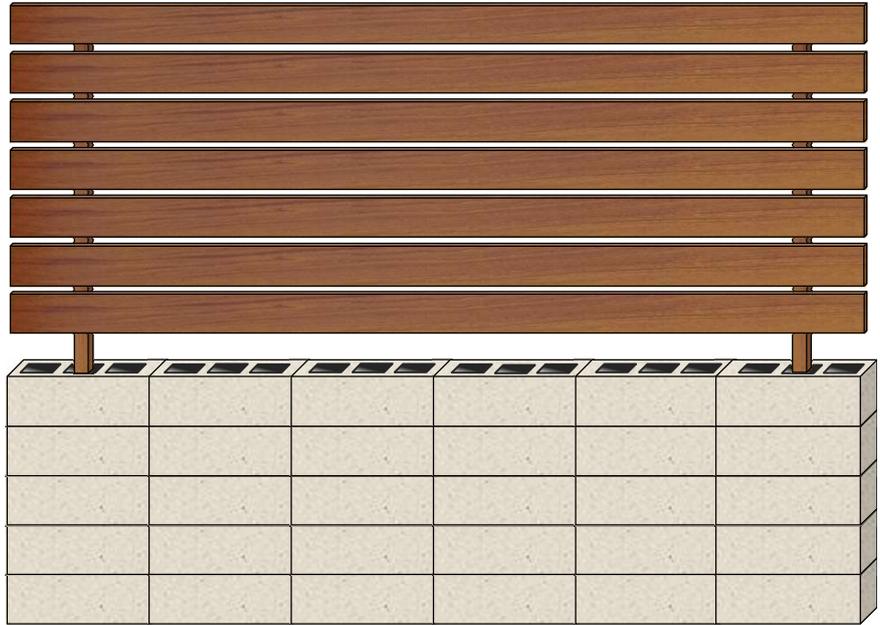
★★下穴を開けてから施工する場合、平板と平板の間のスペーサー(幅1cmの木片等)は必要ありません★★

⑨完成

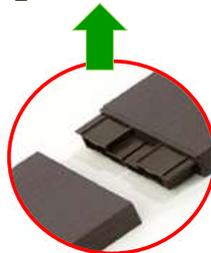
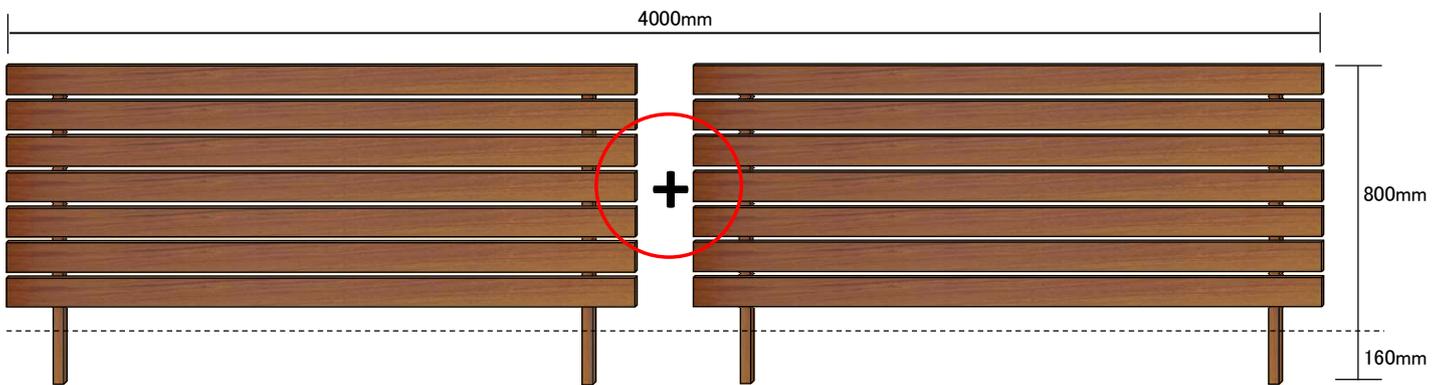
平板を全て固定すればフェンスの完成です。

最後に付属の専用キャップを取り付けます。

取付けの際にはボンドやコーキング材を使用し、
強風等で飛ばされないようにして下さい。



連結して長いフェンスとしても使えます。
ご希望があれば備考欄にご記入下さい。



連結してご使用の場合は、
平板キャップ×2個を→平板連結材×1個に
差替えて納品いたします。

**備考欄に「連結希望」等、
入力してお申し付け下さい。**